



能登教区通信

このたび、標記通信2019年1月号を発行いたしましたので、ご一読のほどお願い申し上げます。

発行責任者 真宗大谷派 能登教務所長 篠原 亨栄

教区教化事業のご案内

◆こころの広場◆ 同朋会推進部門

- ・ 日 時 2019年1月19日(土) 午後2時～4時
- ・ 講 師 道上 清樹 氏(金沢教区仰西寺涌波教会)
- ・ 講 題 孤独を超える生き方
- ・ 参加費 500円

◆和讃研修会◆ 研修部門

- ・ 日 時 第1回 2019年1月18日(金) 午後1時半～4時半
第2回 2019年3月8日(金) 午後1時半～4時半
- ・ 講 師 藤場 俊基 氏(金沢教区 常讃寺)
- ・ 内 容 『高僧和讃』に学ぶ
- ・ 持ち物 『真宗聖典』、念珠、間衣・輪袈裟(有僧籍者)、筆記用具等
- ・ 参加費 500円
- ・ 備 考 どなたでもご参加いただけます。また、教師陞補第1種認定の講座となります。

◆歎異抄講座◆ 研修部門

- ・ 日 時 第1回 2019年2月26日(火) 午後1時半～4時半
第2回 2019年3月13日(水) 午後1時半～4時半
- ・ 講 師 山田 恵文 氏(大谷大学准教授)
- ・ 内 容 『歎異抄』第7条から
- ・ 持ち物 『真宗聖典』、念珠、間衣・輪袈裟(有僧籍者)、筆記用具等
- ・ 参加費 500円
- ・ 備 考 どなたでもご参加いただけます。また、教師陞補第1種認定の講座となります。

◆教区男女平等参画推進事業 同朋社会推進協議会・教区坊守差別問題研修会◆

- ・ 日 時 2019年3月7日(木) 午後1時30分～午後4時30分
- ・ 会 場 能登教務所(済美精舎)
- ・ 対 象 どなたでもご参加いただけます
- ・ 講 師 松本 美紀 氏(第1組 圓通寺)
岩垣 秀一 氏(第10組 道忍寺)
畠山 浄 氏(第13組 常福寺)
- ・ 講 題 お寺における男女平等とは?
ー『人権問題』についての意識・実態調査集計報告書』から見えてきたことー

教化事業・その他行事のご報告

◇能登教区報恩講◇ 総合教化本部

能登教区では2016年9月に教化委員会規則を改定して、新たな教化体制を発足させました。そこに願われているのは「教区教化は教区人自らの手で」ということで、まず、総合教化本部を立ち上げて、教区人が主体的・継続的に教化を荷負っていく。また、教化部門も七部門から五部門に改編して各部門の委員数を増やし、事業の企画・立案だけにとどまらず、委員自らが事業の実行に携わっていく。このようにして、能登の現状に即して教化の在り方を主体的に創造し実践しようとするものです。



このような願いのもとで、教区報恩講についても、教区全体がかかわる大切な事業であることをさらに広く周知し定着させるために、教区人が単にお客さまとして「参加」するのではなく、自らが積極的に「参画」という体制を整える必要があると、総合教化本部で確認されました。

そのために、まず、教区報恩講実行委員会が立ち上げられました。そして、総合教化本部と特に今回の式支配を務める第14組が中核となり、各組門徒会並びに教区の関係諸団体（坊守会・推進員協議会・声明会・雅鳳会・合唱団・布教伝道研究会など）の参画を得て、教務所職員のバックアップを受けながら、事前のおみがき・清掃作業、荘厳の準備、当日の役割分担、そして後片付けと、一連の報恩講事業を実行することができました。

現状は教務所職員やこれまで長年にわたってかかわってこられた方々にまだまだ頼る一方なのですが、この能登教区報恩講が、教区人自らの手による教区全体の報恩講としてさらに充実するように図っていきたいと思います。皆さまのご理解とご協力を今後ともよろしく願います。

〈総合教化本部長 大窪 祐宣 記〉

◇能登教区報恩講◇ 声明会

願以此功德 平等施一切 同發菩提心 往生安樂国

お勤めの最後によく聞くこれ。それを和訳の歌詞にしたものが音楽法要で毎年歌われます。私は、この和訳の回向がとても好きです。

願わくは 一切世界の人々と この出会いの喜びを みな平等に分ち合い
ともに仏になる心 発(おこ)して阿弥陀みほとけの 安樂国に生(あ)れ
生きてはたらく身とならん



教区報恩講に今年も出仕させていただき、皆さんと一緒に勤行したり、御伝鈔の拝読をさせていただいたり、準備や片付けにも関わらせてもらったりしました。

報恩講が勤まると、毎年わくわくするんですが、皆がそれぞれに色々な生活を送る中で万難を排してその場に身を運び、共にお念仏申すその事が、私をわくわくさせるのだと気付きました。まさに回向の歌詞がズバリその通りといったところでしょうか。

今年はまだ御本山の御正忌報恩講にも出仕させていただきました。皆が意識してよりよいお荘厳たらんというお勤めをすることが、なんとも尊く嬉しく楽しい場であることかと涙が出たほどでした。

もうすでに来年の報恩講が待ち遠しいこととございます。今年足は運べなかったという方とも、来年はぜひ一緒にお念仏申したいことです。南無阿弥陀仏

〈能登教区声明会 藤井 如子 記〉

◇能登教区報恩講◇ 青少幼年部門

青少幼年部門では過去3年間の得度受式者に報恩講出仕の案内をしている。去年に引き続き初夜勤行を音楽法要にて共に勤めた。

出仕者は2名とさみしかったが、二名とも親子で並んでの報恩講出仕は、親子にとって大切な時間となった。

また、研修室では過去の研修を振り返り、倉庫に眠っていた過去の作品の展示をした。漫画家のむらしんぼ氏、書道家の三藤観映氏、彫刻家の金城実氏、各氏と一緒に考え、話し合い作られた作品が展示された。過去のスタッフ、参加者からの当時を懐かしむ声が聞かれた。〈青少幼年部長 崖 超 記〉



◇能登教区報恩講◇ 坊守会



お斎は、様々な仏事の際に、有縁の御同朋があいつどい、ともどもにお念仏に出遇った喜びを語り合いながらいただく食事のことです。今年も教区報恩講において、坊守会が12日の昼食・夕食、13日の朝食と3食のお斎をふるまいました。

10月から献立を考えるなどの準備を始めていました。直近になり、予定していた献立を作れるだけの食材が集まらない！ということがありましたが、各組の坊守会長さんを通じ、組内の坊守さん方に声をかけていただくなどして、前日準備までに予定以上の食材を揃えることができました。

配膳をしていると、お参りくださった皆さんがお斎を食べながら「今年もお参りできて良かった」「一緒に食べる食事は一層おいしい」という声を聞くことができ、作り手としてはとても嬉しい気持ちになりました。お斎作りにご協力いただいた皆様に御礼申し上げます。〈能登教区坊守会〉

本山・教区事務についてのご連絡

重要なお知らせ

2019年から得度式・住職修習の期日が変わります。

詳しくは同封の用紙をご覧ください。

願事申請書類について

宗門法規の改正や事務の見直しに伴い、申請書類の様式が変更になっているものがあります。

既にお手元にある申請書類に記入し、準備をされているものは受け付けることができますが、これから申請の準備をされるという方は、教務所に連絡いただき、最新の申請書類をお受け取りください。

◇本山経常費年未完納について◇

能登教区では、「年末金」として12月中に多くの御寺院に経常費御依頼金を御完納いただいておりますこと、誠に感謝申し上げます。今年度の**年未完納扱いは2019年1月18日(金)まで**となっておりますので、何とぞよろしくお願い申し上げます。

なお、ご完納の際、法要座次・衣体許可等の申請をご希望される方は、教務所までお申し付けください。(年未完納での申請の際は、額を10分の8に減額することができます)

◇教区新年互礼会について◇

本年度も教区新年互礼会を2019年1月31日(木)に和倉温泉「のと楽」において開催いたします。寺族、ご門徒など有縁の方々をお誘いの上、是非多くの方にご参加いただきたく思います。ご出席される場合は**1月23日(水)までに先月の教区通信に同封のハガキにてお申し込みください。**

◇北海道胆振東部地震災害救援金の御礼と報告について◇

能登教区では、2018年9月6日に発生いたしました標記災害への対応として、教区内へ救援金のご協力をお願いして参りました。

10月31日までの受付期間で、下記のとおり救援金をお寄せいただき、全額を「能登教区救援金」として宗派救援金口座へ送金いたしました。皆さま方の多大なご支援に対し、厚く御礼申し上げます。

平成30(2018)年北海道胆振東部地震災害救援金現況(能登教区から宗派救援金口座へ送金した救援金)

1,361,760円 (11月16日現在)

なお、これまで教区では、7月豪雨災害救援金は9月末日、北海道地震災害救援金は10月末日をもってとりまとめて本山へ送金を行っておりますが、期日以降も下記口座にお振込みいただきましたら、教区から本山へ届けさせていただきます。引き続き勧募にご協力賜りますようお願いいたします。

【救援金受付口座】

<郵便振替口座> 00710-5-3866

<加入者名> 真宗大谷派能登教務所

※通信欄に必ず「平成30(2018)年7月豪雨」または「北海道胆振東部地震」災害救援金と明記してください。

◇本山経常費完納寺院◇(2018.11.1~11.30迄)

2018年度本山経常費をご完納いただき、有難うございました。ここにご披露申し上げ、御礼に代えさせていただきます。

第2組	仰信寺	第8組	養覺寺	名船寺	真念寺
第3山方組	安入寺	第10組	浄福寺	長願寺	
第4組	正久寺	浄因寺	第11組	圓成寺	善正寺
第6組	明敬寺	第13組	浄覺寺		
		第14組	宗貞寺		

◇敬弔◇(教区通信12月号掲載以降)

御生前の御苦勞を偲び、謹んで哀悼の意を表します。

第1組	常樂寺	前坊守	北龍 和子	2018年11月29日
第10組	浄正寺	前坊守	貞廣 美和子	2018年11月30日

※この教区通信は能登教区ホームページよりPDFファイルでダウンロードすることができます。適宜ご活用ください。

能登教区教化テーマ
能登教区教化スローガン
能登教区ホームページアドレス URL

ほとけさまに遇いにきたいのち、今ともに生きよう
一人一人が親鸞聖人に向き合う生活を
<http://ohigashi-noto.jp/>